

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2001-501070(P2001-501070A)

【公表日】平成13年1月23日(2001.1.23)

【出願番号】特願平11-506772

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 9/07

H 0 4 N 9/64

【F I】

H 0 4 N 9/07 C

H 0 4 N 9/07 A

H 0 4 N 9/64 R

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月8日(2005.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成17年 6月 8日

特許庁審査官 小川 洋 殿

## 1 事件の表示

平成11年 特許願 第506772号

## 2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス  
エヌ ヴィ

## 3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号  
霞山ビルディング7階 電話(3581)2241 番(代表)

氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作



4 補正対象書類名 請求の範囲

5 補正対象項目名 請求の範囲

6 補正の内容 別紙の通り



1. 請求の範囲を下記の通りに補正する。

「 請 求 の 範 囲

1. 交互に色付けされたサンプルを有する信号における色サンプルを補間する方法において、

前記補間されるべき色サンプルと同一の色の隣接する色サンプルを供給するステップと、

前記補間されるべき色サンプルと同一位置からの異なって色付けされたサンプルを供給するステップと、

前記補間されるべき色サンプルを、前記同一色の隣接する色サンプルと前記同一位置からの異なって色付けされた色サンプルとに従って補間し、補間された色サンプルを供給するステップと、

を有することを特徴とする色サンプルを補間する方法。

2. 請求項1に記載の方法において、前記補間するステップが、

前記補間されるべき色サンプルと同一の色の水平方向に隣接する色サンプルの水平方向平均を決定するステップと、

前記補間されるべき色サンプルと同一の色の垂直方向に隣接する色サンプルの垂直方向平均を決定するステップと、

前記水平方向平均と、前記垂直方向平均と、前記同一位置からの異なって色付けされた色サンプルとの中央値を供給するステップと、

を有していることを特徴とする方法。

3. 請求項1に記載の方法において、前記補間するステップが、

前記補間されるべき色サンプルと同一の色の水平方向に隣接する色サンプルの水平方向平均を決定するステップと、

前記補間されるべき色サンプルと同一の色の垂直方向に隣接する色サンプルの垂直方向平均を決定するステップと、

前記水平方向平均と、前記垂直方向平均との加重平均を、前記同一位置からの異なって色付けされた色サンプルに従って計算するステップと、

を有していることを特徴とする方法。

4. 請求項1に記載の方法において、前記補間するステップが、前記同一位置からの異なって色付けされた色サンプルを、該異なって色付けされた色サンプルが考慮される前に白バランス調整係数により乗算するステップを有していることを特徴とする方法。
5. 請求項4に記載の方法において、前記白バランス調整係数が、カメラの色マトリクスの逆であるマトリクスにより補正されることを特徴とする方法。
6. 請求項1に記載の方法において、前記補間するステップが、前記同一位置からの異なって色付けされた色サンプルを、該異なって色付けされた色サンプルが考慮される前に利得調整係数により乗算するステップを有していることを特徴とする方法。
7. 請求項1に記載の方法において、偽色を前記補間された色サンプルに従って低減するステップを更に有していることを特徴とする方法。
8. 請求項7に記載の方法において、中央の色サンプル又は前記補間された色サンプルと、同一色の隣接する色サンプルの平均との間の絶対差分が閾値を越える場合に偽色が検出されることを特徴とする方法。
9. 請求項7に記載の方法において、前記補間された色サンプルとは異なる色を持つ色信号において偽色が低減されることを特徴とする方法。
10. 請求項7に記載の方法において、偽色がクロミナンス信号において低減されることを特徴とする方法。
11. 請求項1に記載の方法において、前記補間された色サンプルに従って輪郭信号を発生するステップを更に有していることを特徴とする方法。
12. 請求項11に記載の方法において、単一色のデータ画素のみをサンプルし、記憶し及びシフトする半行遅延を使用するステップを更に有していることを特徴とする方法。
13. 請求項12に記載の方法において、互いに遅延された緑信号を供給する直列の4つの半行遅延と、互いに遅延された赤／青信号を供給する直列の3つの

半行遅延と、3つの補間された緑信号を供給する3つの緑補間器とを使用するステップと、輪郭信号を前記3つの補間された緑信号に従って発生するステップとを更に有していることを特徴とする方法。

14. 請求項1に記載の方法において、

輝度信号及びクロミナンス信号を供給するステップと、

前記補間された色サンプルをハイパスフィルタして、高周波白信号を得るステップと、

前記高周波白信号を前記輝度信号に加算して、出力輝度信号を得るステップと、

を更に有していることを特徴とする方法。

15. 交互に色付けされたサンプルを有する信号における色サンプルを補間する装置において、

前記補間されるべき色サンプルと同一の色の隣接する色サンプルを供給する手段と、

前記補間されるべき色サンプルと同一位置からの異なって色付けされたサンプルを供給する手段と、

前記補間されるべき色サンプルを前記同一色の隣接する色サンプルと前記同一位置からの異なって色付けされた色サンプルとに従って補間する手段と、を有することを特徴とする色サンプルを補間する装置。

16. 交互に色付けされた色素子を備え、交互に色付けされたサンプルを有する信号を供給する色アレイを具備するセンサと、

請求項15に記載の補間装置と、

を有することを特徴とするカメラ。」